令和６年度実施状況調査報告書（スポーツ振興くじ助成）

■調査概要

助成団体	北海道芦別市
事業細目名	スポーツ競技施設等の整備
事業名	芦別市市民球場ラバーフェンス改修事業
助成金額	16,000,000 円

平成５年度地域スポーツ施設整備助成を活用し、北海道芦別市市民球場ラバーフェンス改修事業を行った北海道芦別市の実施状況調査を行いました。

平成１５年度の供用開始以来、外野フェンスの経年劣化が進み、破損個所も多い状況となっていたことから安全性の確保が必要とされていたそうです。

■助成の意義

くじ助成を活用し、外野ラバーフェンスの劣化が進んでいた箇所と門扉のクッション材の改修を実施したことにより、プレー中における安全性が格段に上がり、良好な競技環境が整いました。実際に合宿で利用した団体からは改修を行ったことにより、安心してプレーすることができたと報告があったそうです。また、施設全体の長寿命化への貢献も期待できるそうです。

■事業効果を高めるため、団体が自主的に工夫して取り組んだこと

芦別市の広報誌やホームページにおいて、くじ助成を受けて改修を実施したことや工事後の写真、くじ助成のバナーを掲載し、施設利用率とスポーツ振興くじの認知の向上を図っているそうです。また合宿利用をする団体にはくじ助成を受けて整備した旨の説明を行い、周知しているそうです。

■その他

施設が利用可能である５月～10 月は、芦別市軟式野球連盟主催大会を、その後は他大会及び合宿などの予約も受け付けており安定した利用が見込まれているそうです。宿泊施設が併設されているため、合宿での利用もあるそうですが、リピーターが多いことから新規顧客の獲得が課題となっているそうです。

施設全体的に老朽化が進行していることから、今後も定期的な改修工事や修繕が必要となることが見込まれるため、財源の確保が課題となっているそうです。

■所感

施設はなまこ山総合運動公園内にあり、総合体育館、陸上競技場やパークゴルフ場などもある「合宿の里・芦別」の中心といえる場所です。今後も引き続き芦別市市民球場が地域スポーツの振興に大きく貢献していくことを期待します。

（令和６年 11 月 14 日往査）

（写真）芦別市市民球場の様子（※JSC 撮影）	
	